



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

やっぱり冬は寒くなくちゃ！ (強がり)

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。やっぱり12月だけのことはあり、古い一戸建ての我が家はすでに朝のリビングの室温が8 とかになってきました。灯油がまだ少し高いので、ウォーム「ビズ」ではありませんが家の中でもしっかり着込んでなるべく暖房を控えて早く寝る様にしています。

さて9月からシリーズでお届けしてきた、『「エコ生活」を検証する』の、今回は最終回として、近年急速に普及してきたバイオ燃料を取り上げ、その「エコ度」の実態を探ってみます。



「エコ生活」を検証する・第4回 ~ バイオ燃料を使うと石油消費が増える?! ~

バイオエタノールとは？

昨年3月、アメリカのブッシュ大統領とブラジルのダシルバ大統領が会談し、穀物を原料とする燃料「バイオエタノール」の生産を促進し、石油消費量を20%削減することで合意しました。自動車の燃料にブラジルはサトウキビ、アメリカはトウモロコシを利用することになりました。これをきっかけに、バイオエタノールの実用化・商品化の動きが一気に加速し、アメリカでは従来の食用トウモロコシの畑だけでなく、オレンジや小麦の畑までが、燃料用トウモロコシ畑に転換されました。その面積は九州全域に相当する広大なものでした。その影響ですくさま小麦やオレンジの価格が高騰し、讃岐うどんの価格も上がりました。穀物はCO2を吸収しながら、土と水と太陽の恵みで育つので、これを燃料にしてもCO2は増えない(カーボン・ニュートラル)として、環境団体もこの動きを支援しています。



大規模な栽培となるとそれ相当のエネルギーを消費します。その量は、熱量換算でバイオエタノール10を生産するのに石油8が必要と言われています。ですから、カーボン・ニュートラルと言っても、生産過程の石油消費

を入れると20%ほどCO2を削減できる程度なのです。アメリカのトウモロコシに至っては、ほぼ「とんとん」。つまりバイオエタノール10を生産するのに石油10が必要なのだそうです。これでは、最初から石油をそのまま燃料にしたほうが簡単なのに、なぜこんなムダなことが始まったのでしょうか？

巨大資本のエゴに翻弄される世界

背景にあるのは穀物メジャーや石油メジャーといった巨大資本です。特に穀物メジャーとすれば、価格が不安定な穀物に全く新しい用途を開拓することで、商売の安定性が増すので大変好都合です。石油メジャーも、バイオ燃料のエコなイメージを傘に、よりビジネスを拡大しようとしています。ブッシュ大統領がバイオ燃料の利用拡大をしようとする背景にも、政治的な圧力が存在しているといえます。その

結果、世界的に食料品が高騰することは目に見えていたはずなのですが、巨大資本にとってはそんなことはお構いなし。日本でもパンやオレンジジュースの価格が上がりました。しかし、日本人はお金持ちなのでまだ良いほうです。本当に申告な被害を受けたのはお金のない人たちでした。

バイオ燃料が貧富の差を助長する

現在世界にはクルマを運転する人が8億人、餓えに苦しむ人も同じく8億人いると言われています。バイオ燃料とは、大事な食料を人でなく自動車に食べさせる様なもの。更にバイオ燃料生産のせいで食料が高くなったら、餓えた人たちは益々食料を買えなくなるでしょう。世界の年間穀物生産高は約20億トンで、人口65億人だとすると、ひとり当たり300kg弱。もし均等に行き渡れば、誰も餓死しなくて済むだけの供給量があるのに、経済力の差が、強者を飽食させ、弱者を命の危機にさらしているのです。私たちはどちら側でしょうか？そして、何ができるでしょうか？



バイオ燃料は本当にエコか？

ブラジルがサトウキビを燃料にしようとしたきっかけは、温暖化対策よりも石油の代わりになる資源がほしかったからだと思います。しかし、勝手に育つならともかく、

トピック

「エコ運転」助けるシステム

ホンダ。燃費効率を高めながら、省エネ運転の仕方までドライバーに教える新システム「エコロジカル・ドライブ・アシスト・システム」を開発しハイブリッド車に搭載すると発表。燃料消費の状況を表示したり、省エネ度を「採点」したりする仕組みを追加。2009年春発売予定。

コーヒーかすを使い切りカイロの原料に

日本コカ・コーラと白元。コーヒー飲料の製造過程で生じるかすを使い切りカイロ「ホッカイロ」で再利用すると発表。工場の廃棄物低減や活性炭の海外依存度を引き下げを狙う。今後茶かすなどでも同様の取り組みを検討。

情報リンク

『偽善エコロジー』武田邦彦著 冬幻舎新書

現代の「エコ生活」の有効性と、行政や企業活動の裏事情まで含めた実態をデータに基づいて検証しています。今回の「地球暮らし」はこの本を参考に執筆しています。

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き『地球暮らし』全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。

編集後記 リサイクルより物を大切にすること

極論ですが「リサイクル」とは、消費を増やして利益を上げたい人たちの「方便」ではないでしょうか？物を長く大切に使う習慣や心がけが、本当はどんな優れた技術や政策よりも、人と自然に優しいのだと思いませんか？今年もご愛読ありがとうございました。良いお年を。

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX : 06 - 6855 - 7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11
（株）さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます